

令和6年度 道徳科授業「実践のポイント」③

12月13日(金) 5時間目 白杵市立西中学校 第2学年3組 青木郁美教諭



【主題名】 自分に恥じない生き方

・内容項目：D(22) よりよく生きる喜び ・教材名：「本当の私」(「新しい道徳2」東京書籍)

【ねらい】

エイミーがドーピングを告白したことについて、自分の弱さと向き合うことの難しさや、それを乗り越えるときの葛藤を自分に置き換えて考えたり、話し合ったりする活動を通して、自分に恥じない生き方をしていこうとする判断力を高めるようにする。

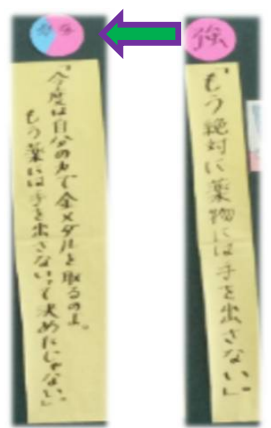
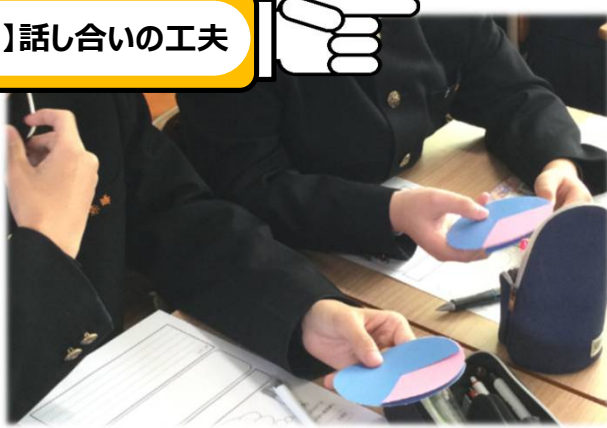
＜学習状況を把握するための指導の着眼点＞

- ・自分の弱さと向き合うエイミーの葛藤について、自分と重ねながら考えたり話し合ったりしているかどうか
- ・自らドーピングを告白するエイミーの思いに寄り添うことで、自分に恥じない生き方について、書いたり発言したりしているかどうか

発問構成

【ポイント①】話し合いの工夫

・事前アンケート「自分の弱い心」



【めあて】

自分に恥じない生き方について考えよう

- ・ワークシート記入
- ・ペアでの話し合い

【中心発問】

なぜエイミーはドーピングを認める発表をしたのだろう

- ・ペアでの話し合い
- ・ワークシート記入



◇自分の現在の気持ちや考えを視覚的に表すことができるツールが「心情円」です。本時では、主人公の心情を「強い心(ピンク)」と「弱い心(青)」と設定し、その割合を円で表現していました。

◇二者択一ではない、微妙な心の状況が、色の度合いに分かれることで、ペアでの対話の際に、意欲的に説明し、また、相手の考えを積極的に聴こうとする効果が期待できます。

◇心情円で表す問いが複数になる場合は、タブレット等で画像に残す方法も考えられます。本時では、黒板に主人公の心情が変化した箇所に心情円を貼っていました。

【補助発問】

黙っていればばれなのに、告白すれば全てを失うかもしれないのに、なぜドーピングを認めたのだろう

- ・ペアでの話し合い
- ・ペアでの話し合い
- ・ペアでの話し合い

【ポイント②】板書の工夫

【振り返り】

私にとっての「自分に恥じない生き方」とは、心の中にある弱さに向き合い、乗り越えていくということです。私にも心の弱さがあるけれど、それに負けない強さを持ちたいです。ウソなく生きていきたいと思いました。

- ・ワークシート記入
- ・教師の説話を聴く

◇ワークシートに記入させたり、ペアやグループで話し合いをさせている間、教師は、生徒がどのようなことを記入しているか、または、話し合っているか、生徒の学習状況を把握することができます。

◇全体で発表させるときに、列ごとや挙手のみで指名するのではなく、「自分の視点」「相手の視点」など、意図をもった指名を行うことが大切です。

【ポイントもっと詳しく】

①話し合いの工夫 → P40

②板書の工夫 → P44・45

【参照資料】大分県道徳指導資料

「道徳科」評価と授業構想の在り方

